

HSK NPO 法人「文福」ニュース



NO.290

冒頭の一言

(6)

皆さん、もうそろそろ7月も終わっていきますが元気ですか？梅雨の真っ最中で蒸し暑い上に日光はめちゃくちゃ強いです(晴ればね)。そんな感じの2日間で今年のザカイジョがありました。確か富山の気温が全国で2番目に高かった日でした。1番暑いと思われる12時前後から15時半ぐらいの間の外出介護の研修でしたが、直前にコンビニで日焼け止めを買い、顔がべちゃべちゃになるくらい塗りたくって炎天下へ。(私お肌が弱いので)めちゃくちゃ疲れましたが、ザカイジョの前期講座は残り半分、受講者のみんな頑張ってるね。

ところで皆さん外出をする時は曇っていても雨の日も晴れてる時は言うに及ばず、日焼け止め忘れないでね～。あとは涼しい所でこのニュース読んで下さい。じゃあね～。

—もくじ—

| | |
|-------------------------------|------------------------|
| 冒頭の一言 … 1 | 第22回 NPO法人文福総会報告 … 2-3 |
| 私の絵の絵画展 (打ち上げ花火) 中村かおる … 4 | |
| 旧優生保護法強制不妊手術の裁判を巡って 河上千鶴子 … 5 | |
| 「まっち」29号の原稿大募集 … 6 | 今後の予定 … 7 |
| ありがとうコーナー … 8 | |

一九九四年八月四日第三種郵便物承認

工部省郵政省認可 一〇、一三、一五、一八、二〇、二三、二五、二八日発行

第 2 2 回 N P O 法人文福総会報告

去る 6 月 1 5 日土曜日文福事務所にて第 2 2 回 N P O 法人文福総会を開催しました。

午前の部は議長選出をし、議案に沿って各部門から前年度の活動報告や、今年度の活動計画、活動決算報告と予算案など順をおって

- ・ 障害者部会
- ・ 介護派遣事業部
- ・ 福祉と人権の学習会
- ・ レクリエーション部『夢宙人』
- ・ 情報提供『障ちゃんニュース』『まっち』
- ・ 事務局より前年度の会計報告と今年度の会計予算案
- ・ 役員改選

の報告がありました。

1 5 分の休憩をはさみ質疑応答があり、出席者からは今後のレクリエーションの行事の質問、障害者部会から富山短大へお話しに行った時の報告、今後の同行援護の在り方や、文福が最寄りの学校に行って活動の宣伝をする提案などがあげられ、意見として、同行援護の人員確保について提案があり、活発な議論が交わされました。

採決は出席者 2 8 名(内委任状 9 名)、欠席者 3 名、過半数 1 6 名のところ、過半数以上の賛成を得て無事に総会を終えることが出来ました。

午後の部は「震災について考えよう!!」というテーマで、富山大学教育学部の准教授を務められている林衛氏の講演を聴きました。

今年の1月に起きた地震や、阪神淡路大震災や東日本大震災など、被災された方々や行政がどんな形で取り組んできたか、関東大震災の話などもしてくださり、地震体験の動画などを見せてもらいました。震度が上がるに従い揺れが激しくなっていく様子がわかりました。身体に障害がある人ない人も震災に遭った時、どのように行動したらよいか考えさせられる講演でした。

報告：森田



～総会の様子～ たくさんの会員さんにお集まりいただきました。



～記念講演会～ 林氏のお話を熱心に聞き入りました。

私の絵の絵画展（打ち上げ花火）

中村かおる

6 月 11 日から 7 月 5 日まで、富山市役所 2 階北陸銀行の展示スペースで私の絵画展をやらせてもらっていました。

私も 60 代半ばになり、体力も気力もだいぶ落ちてきました。

「体力的に油絵やアクリル画を描くのもそろそろ限界かなあ。」そんな事が頭の中をよぎるようになってきました。

そんな中、「私の絵の、そして人生の集大成(打ち上げ花火的な)事をしたいなあ。」と思い、去年の秋に富山市役所 2 階の北陸銀行に行き、私の絵の展示をお願いしたところ快く承諾して下さったので、『足で描いた花たち』と銘打ち足で描いた花の絵を 6 点展示させてもらっていました。

もう一つの展示の理由としては、高齢で寝たきり状態になり入院している母に「私、絵の展示会やったよ！」と伝え、少しでも元気が出れば良いなと思いやりました。でも、これは身勝手な私の思いですね。

それと、やっぱり何と言っても精魂込めて描き上げた絵ですから、少しでも多くの人に見てほしいと思いました。

上にも書きましたが、体力も気力もだいぶ落ちてきているので、この展示を最後に展示会はもう行わないのは勿論のこと、絵を描くのも大きな絵は描かずに私の体力にあった小さな絵を描ける時に描くという、無理がない私なりの絵を描くスタイルを模索していきたいと思っています。絵画展の準備をするのにちょっと疲れましたが、やって良かったと思います。



旧優生保護法強制不妊手術の裁判を巡って

最高裁大法廷の判決が出されて思うこと。

河上千鶴子

7月3日の判決を聞いて、本当にうれしく思いました。

私は原告ではないけど、一步間違えれば被害者になった可能性があったからです。長年闘ってきた活動に、ようやく光が見えた感じがしています。除斥期間（時間の壁）が障害になっていたため、ずいぶん苦しめられてきました。地裁判決は、憲法違反であることは、認めてきましたが、除斥期間が過ぎているため、賠償請求は認められないという判決でした。除斥期間とは、被害にあってから、20年が経過したら、賠償請求権が無くなるというものです。

今までの最高裁大法廷判決で、除斥期間を適用しなかった判決は2例しかないと聞いています。だから、判決が出るまでハラハラしていました。

（最初に被害を提訴するにいたるまでも、この問題が壁となって大変長い期間を要しました！）もっと早くこういう判決が出されていれば、多くの被害者が助かっていたと思います。

長い間闘いながら亡くなった知人を思い浮かべます。「やっと勝ったよ！」とところろの中で報告しました。きっと天国で喜んでいてと思います。被害にあった人でも、なかなか周りに言えず、「障害者だから仕方ない」と訴えることが出来なかったことを改めて国が認め、責任を取って欲しいと強く思います。

それと、昨年、問題になった、北海道の「あすなろ」会のグループホームでの不妊処置も同様のことだと思えます。まだまだ、障害者は、結婚までは、認めるが、子供を持つことは、許さない、子供を持つ権利を奪っています。

今回の判決で、学校教育の中にも、こういう間違っただ法律があったために、約2万5000人もの障害者が被害にあったこと、障害があっても同じ人間なのだから、みんなと一緒に権利があるし、出来ないことは、お互いに助け合って行けば良いのだと教えて行ってほしいものです。

「まっち」 29 号の原稿大募集

季刊誌「まっち」個人史・社会問題・そして人と人を結ぶことを目指し発行しています。

その「まっち」28号を発行する事ができました。皆さんが原稿をお寄せ下さったおかげだと思っています。この場をかりて深くお礼を申し上げます。m()m

前号にも書かせてもらいましたが、

次号のテーマは『分岐点』です。

人は生きていく上で必ずと言っていいほど人生の『分岐点』に出くわし、立ち止まり悩み苦しみながらも人それぞれの答えを出して、前に向かって進んできたのではないのでしょうか。

貴方にとっての『分岐点』は何だったのでしょうか？

その『分岐点』で貴方は何を思い何を考え、どう前に進んだのか等を書いて下さり、【まっち】にお寄せ下されば嬉しいです。

皆さんからのステキな原稿をお待ちしております。

原稿締め切り 2024 年 8 月末日 発行 2024 年 9 月末

もちろん、他のテーマや詩や俳句、川柳、短歌、イラスト(絵)等の原稿もお待ちしています。

メールでの投稿は、 macchitti@gmail.com に

FAX での投稿は、 (076) 460-0390 に

郵便での投稿は、 〒930-0138 富山市呉羽町 7276 - 3

NPO 法人 文福 『まっち』編集係

までお送り下さい。よろしくお願い致します。

尚、『まっち』を一読されてみたい方、文福事務所に常時置いてあります。上記に記した連絡先にご連絡ください。

『まっち』編集者一同



◆今後の予定◆

このコーナーでは、基本的に文福や他団体の今後のお知らせを載せていきますので、チェックして、たくさんの方々にお越し頂ければと思います。よろしくお願いします。

◎働く女性のためのセミナー<講演+しゃべり場>

マンガは人生の参考書

少女マンガを題材に、女性が直面する様々な悩みや、生きづらさへの処方をジェンダーの視点で紹介します。講演後は「しゃべり場」で好きなマンガについてワイワイ話しましょう。

日 時：9月7日（土）13：30～15：30

場 所：富山県民共生センターサンフォルテ

講 師：トミヤマユキコさん 東北芸術工科大学 准教授

募集定員：30名程度

対 象：女性

費 用：1,000円

お問い合わせ先：

富山県民共生センターサンフォルテ

TEL 076-432-4500（月曜・祝日はお休み）

◎重度訪問介護従業者養成研修「ザ★カイジヨ」

基礎課程：10月26日（土）27日（日）

追加課程：11月9日（土）

場 所：未定

定 員：12名

お問い合わせ先：NPO法人文福 TEL 076-460-0390

ありがとうコーナー

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

今後もよろしくお願いします。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



もう 8 月になります。今年は、全国的に梅雨入りが遅いにも拘らず、線状降水帯が発生したり、6 月から暑い日が続き、夏本番が思いやられますね。6 月から、暑いので、熱中症で病院に運ばれたというニュースを耳にします。しっかり水分も栄養も取って熱中症にならないように気をつけて暑い夏を、元気で乗り切りたいものですね。
(アパッチ)

* 2024 年度新規会員・継続会員 *

荒戸 紗貴さま 粟島 克幸さま 入江 真理さま 上田 孝子さま
大西 貞夫さま 大野 啓子さま 加賀 成美さま 河上 千鶴子さま
日下 正秀さま 久保 ゆかりさま 坂井 由美子さま 先祖 貴代さま
福田 文恵さま 中村 薫さま 林 衛さま 堀江 節子さま
道永 麻由美さま 村上 隆さま 森田 知恵さま 八木 勝自さま
吉田 健太さま

* カンパ *

大西 貞夫さま

発行人：北陸障害者定期刊行物協会 富山市今泉 3 1 2

編集人：特定非営利活動法人 ^{ぶんぶく} 文福

〒930-0138 富山市呉羽町 7276 番地 3

e-mail: bunpuku@ab.auone-net.jp

HP: <https://bunpuku.org/>

TEL/FAX (076) 460-0390

定価 50円

※文福の会員の方は、会費に購読料を含んでいます。